

3 これまでの取り組み

本章では第Ⅰ期計画期間中に実施した各施策について記します。また、取り組みにおける課題も合わせて示すことで、第Ⅱ期計画の施策に繋がります。

(1) 自転車利用ルールの啓蒙活動

市内の小中学校やイベントにおいて実施した交通安全啓蒙活動の報告を写真付きで掲載します。加えて、令和5年度、令和6年度にそれぞれ実施した、自転車ヘルメット購入助成の補助実績について掲載する予定です。

3 これまでの取り組み

(1) 自転車利用ルールの啓蒙活動

①自転車交通安全教室

立川警察署や立川国立交通安全協会の協力のもと、市立小学校8校において、自転車の乗り方やルールを学ぶ、自転車安全教室を開催。一時停止や安全確認を実際に自転車に乗りながら学んでいます。



(1) の掲載イメージ

②スケアード・ストレイト方式による自転車交通安全教室

スタントマンが交通事故を再現し、交通ルールの遵守の大切さを学ぶ、体験型の交通安全教室を市民まつり内で実施しました。例年市立中学校一校でも実施しています。



③市内イベントにおける交通安全ブースの展開

防災フェスタやLINK くにたちといった市内開催のイベントにおいて、自転車シミュレータ等を活用した、交通安全ブースを展開。子どもから高齢者まで、幅広い年齢層に向けた啓発活動を実施しました。



(2) 自転車利用促進

シェアサイクルを用いた自転車利用促進に関して記載します。また、現状のポート設置箇所とポートが少ない又はポートのない地域を抽出し、今後の課題を明確にします。

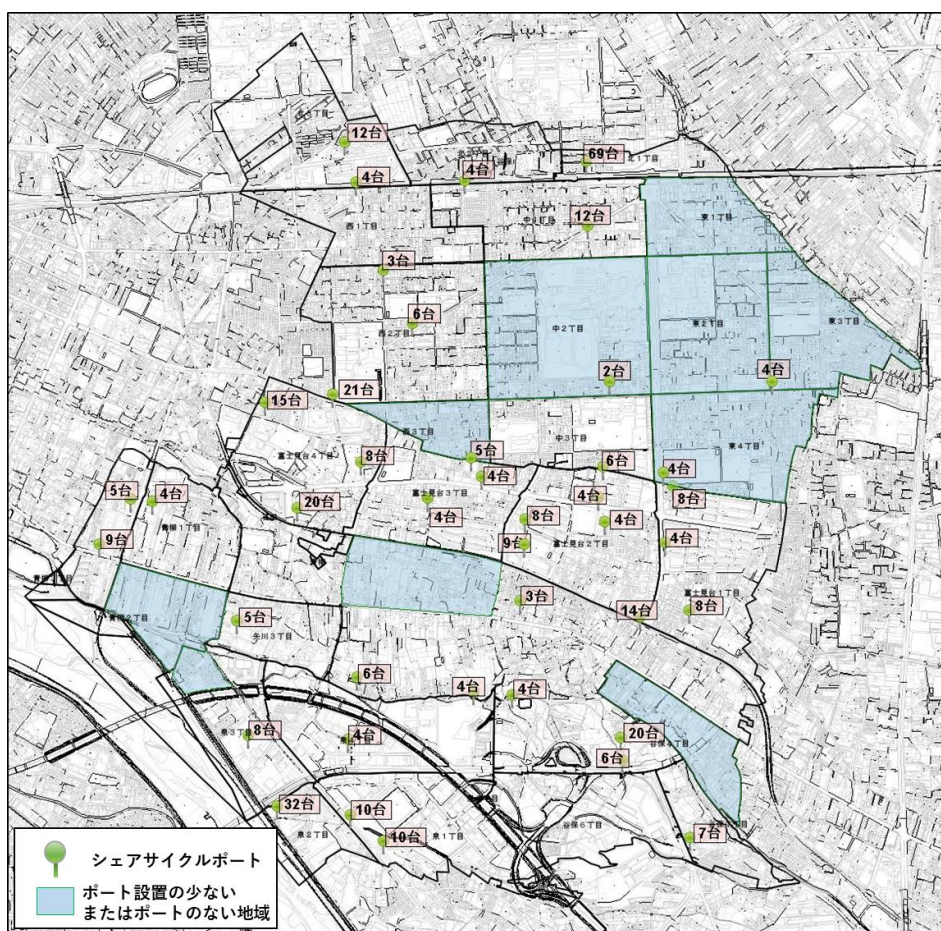
(2) 自転車利用促進

(2) の掲載イメージ

国立市では、平成31年1月～3月に事業者提案事業にてコミュニティサイクル事業の提案を受け、「コミュニティサイクル導入に向けた支援方針」に基づき、平成31年4月から国立市内でコミュニティサイクルを展開しています。令和8年4月時点では、市内に42カ所にシェアサイクルポートが設置されており、新規ポートの設置に加え、利用状況に応じた既存ポートの設置台数の拡大といった整備を行っています。尚、隣接する各自治体でも同様のシェアサイクルが導入されており、相互乗り入れも可能となっています。令和5年度と令和6年度には、近隣市と合同で観光連携キャンペーンも実施し、シェアサイクルの利用促進に繋げています。

ポートの増設に伴い、シェアサイクル利用者の利便性は高まっていますが、現状シェアサイクルポート設置のない又はシェアサイクルポートの少ない地域もあり、幅広い需要に対応できるよう整備を進めていくことが課題となっています。

図3-1 シェアサイクルポート設置箇所（令和8（2026）年4月時点）



(3) 自転車走行空間整備

さくら通りの2車線化による自転車道整備や市内の各路線に関する自転車ナビマークの整備路線について記載します。国道や都道における自転車ナビマーク整備道路については、各機関と掲載について協議します。市道のみならず、国道や都道の整備についても記載することで、接続箇所や連続性についても示すこととなります。

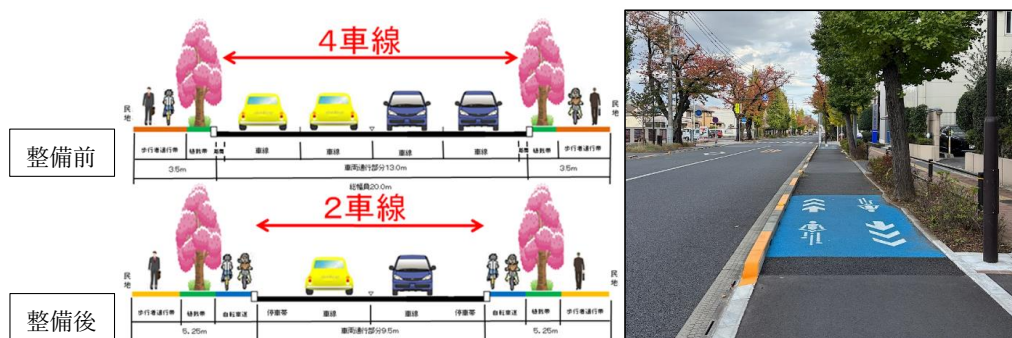
(3) 自転車走行空間整備

(3) の掲載イメージ

①さくら通りの自転車道の整備

4車線あるさくら通り（富士見台第6号線）を2車線に変更。新たに生まれた空間で双方向通行が可能な自転車道を整備しました。

図3-2 さくら通りの整備状況



②自転車ナビマークの整備

自転車ナビマークは自転車が通行すべき部分及び進行すべき方向を明示し、道路交通法に規定されている自転車の通行方法について、自動車運転者に対しわかりやすく周知する役割があります。国立市内においては、優先整備道路を選定し、交通量が多く、通学路になっている路線で、一定の幅員が確保できる箇所等について、優先的に自転車ナビマークを設置しました。

図3-3 自転車ナビマーク



南第35号線のナビマーク



(4) 自転車駐車場整備

市内の鉄道駅（国立駅・谷保駅・矢川駅）の自転車駐車場整備状況について、地図により可視化し、民営自転車駐車場を含めた駐車可能台数を示します。加えて、第Ⅰ期計画策定時点の自転車駐車場の整備状況とも比較を行います。現状の市営自転車駐車場の利用率や利用料金（定期・一時）についても掲載する予定です。

矢川駅

(4) の掲載イメージ

	駐車場名	記号	駐車可能台数			自転車			
			自転車	バイク	合計	定期	一時	公営	民間
北口	矢川駅北第1自転車駐車場	A	350	0	350	○	-	350	
	矢川駅北第2自転車駐車場	B	360	40	400	○	○	360	
	矢川駅北第3自転車駐車場	C	442	0	442	○	○	442	
	民間駐輪場 ダイチ12	D	183		183	-	○		183
	小計		1,335	40	1,375			1,152	183
南口	民間駐輪場 ダイチ13	E	126		126	-	○		126
	民間駐輪場 矢川駅前駐輪場	F	121		121		○		121
	小計		247	0	247			0	247
計			1,582	40	1,622			1,152	430

矢川駅においては、民営自転車駐車場が整備されたことで、駅周辺における自転車駐車可能台数が増加しています。バイクの駐車可能台数に変更はありません。



矢川駅周辺において、市営自転車駐車場の変更はありませんが、民営自転車駐車場が複数箇所整備されました。特に駅南側には市営自転車駐車場がないことから、民営自転車駐車場（一時）の存在が自転車駐車空間の需要を補完するかたちとなっています。

(5) 放置自転車対策

市内の鉄道駅（国立駅・谷保駅・矢川駅）周辺における放置自転車対策について、示します。警告札の貼り付けや放置自転車の移送等、啓発活動の様子を掲載します。また、令和6年度に実施した、放置自転車保管場所の移設についても記します。その他、令和6年3月に運用を開始した、放置自転車の投稿や移送された自転車の情報閲覧等が行えるサービス、公開型GIS『くにたちガイド』についても掲載予定です。

(5) 放置自転車対策

(5) の掲載イメージ

①放置自転車の啓発・撤去活動

市内の各鉄道駅における放置自転車整理区域においては、啓発員が巡回し、警告や撤去活動を実施しています。放置自転車を確認した際には警告札の貼り付けを行い、自転車が移動されない場合には放置自転車保管場所への移送を行っています。放置自転車の啓発・撤去活動については、夜間の実施も導入し、自転車の放置がされにくい環境づくりを行っています。



②放置自転車保管場所の移設

令和6年度には、国立市泉から国立市北へ、自転車保管場所の移設を行いました。放置自転車の最も多い国立駅の放置自転車整理区域からほど近い場所へ移設を行ったことで、短い時間で放置自転車を移送することが可能となり、効率的な啓発・撤去活動による放置自転車の抑制に繋がっています。また、移送された自転車の所有者にとっても、自転車の引き取りを行いやすい立地となりました。